２０歳を迎えた皆さんへ

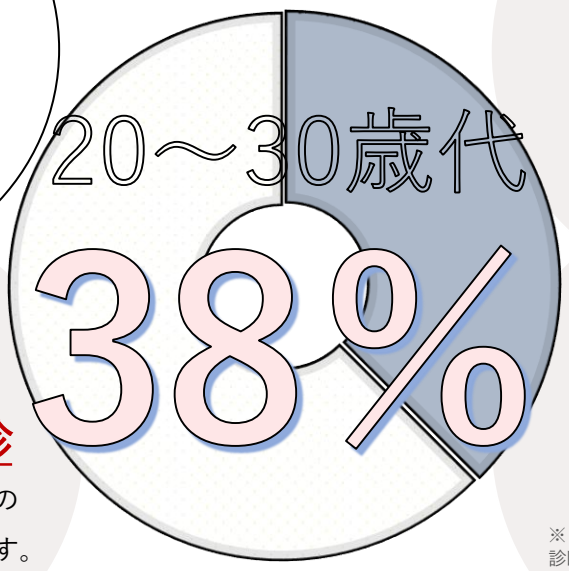
今、知ってほしい「子宮頸がん」のこと

▷若い世代での子宮頸がんが増えています

主な原因は
ＨＰＶ
(ヒトパピローマウイルス)
HPVは、一度でも性交渉の経験があれば感染している可能性があります。

20歳になったら、
2年に一度
子宮頸がん検診
「がんになる前の細胞」の段階で早期に発見できます。

子宮頸がんにかかる女性
（上皮内がん含む）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス
「がん統計」（全国がん登録）

早期発見には、
検診受診が最善の方法です！

初期は無症状
「症状がないから大丈夫」
と思っていませんか？

早期治療で
90％以上が治ります。※
子宮頸がんの治療は、
将来的に妊娠や出産に
影響を及ぼすことがあります。

※ ここでいう「治る（＝治癒）」とは、
診断時からの５年生存率で
Ⅰ期（早期がん）で発見された場合の値です。

予防　未来のために、今できることから

子宮頸がん検診

問診



生理の様子などの
質問に答える。

視診・細胞診（5～10分）



膣内に専用の器具を入れ、
異常がないか確認。
やわらかいブラシで
子宮頸部の細胞を採取。

子宮頸がん検診の
＼よくある質問にお答えします／

Q. 痛くないの？
A. 痛みはそれほどありません。
稀に出血することがあるので、念のため
ナプキンを持って行くと安心です。

Q. 検診の受け方は？
A. 住民票のある市町村のHPを検索！
前橋市では、市から発行される受診シール
を使うと、500円で受けられます。



※R8年度の受診シール有効期限は
R9年2月末まで

【お問い合わせ先】　前橋市保健所健康増進課(前橋市保健センター３階)
電話：027-220-5784（9:00～17:00　土日祝を除く）　FAX：027-223-8849

子宮頸がん
（前橋市HP）